

世界とつながるわたしたちの食卓

小学校高学年 向け
国際理解教育



ねらい

- ☑ 「フードマイレージ買物ゲーム」を通して、自分たちがふだん口にしているさまざまな食材が、いろいろな国や地域から運ばれてきていることに気がつくとともに、その生産・流通過程で多くの人々の手を経ていることを知る。
- ☑ 食卓の向こう側には、いろいろな人たちのくらしや願いがあることを知り、食べ物を通して世界と自分たちが深くつながっていることを認識させたい。
- ☑ 食料の生産や輸送が多量のCO₂排出につながり、地球の環境とも深い関係にあるからこそ、自分たちの「今」の暮らし方が地球の未来に大きく関わっていることを実感させたい。将来の地球環境や自分たちの未来の生活について、ただ危機感をもつだけにとどまらず、自分たちの暮らしの中でできることを考え、行動するようにしていきたい。

授業のすすめかた

- ① 出会い『貿易ゲーム』
世界の不公平さを体験する。
- ② 追求『わたしたちの食事とフードマイレージ』
「フードマイレージ買物ゲーム」で世界と自分たちの食卓がつながっていることを実感する。
- ③ 交流『食卓とつながる「世界」と「地球環境」』
グループごとにフードマイレージを発表し合い、違いや気付いたことを話し合う。
- ④ 自立『わたしたちにできること』
自分たちの生活をふりかえり、無駄はないかを考える。各自が継続して実行していける方法を見つける。家庭や地域への啓発活動につなげる(ポスターやチラシなど)。



- ◆ 同じ食材でも、外国産のカードを増やすことで、子どもたちの選択肢を増やしてゆさぶりをかけた。
- ◆ 遠くから運ばれてきているにも関わらず、国産のものよりも値段が安いものがあることに気付けるようにした。
- ◆ 日本を含む一部の国々が、多くの発展途上国から不当に搾取している事実があること、今日の生活を成り立たせるために資源を切り売りしていかなくてはならない発展途上の国々の現実にも触れられるようにした。



児童の声

- ◀ 外国から運ばれてくるものは、フードマイレージが大きくておどろいた。家族にも伝えたい。
- ◀ 日本に輸出するために、その国での環境破壊が進んでいることや、安い値段で働いている人たちがいることを知らなかった。
- ◀ 多くの人に知ってもらって、地球の環境をもっと大事にしていきたい。
- ◀ 買物をするときには安い方がいいと思っていたけど、環境のことを考えると近くでとれたものを選ぶほうがいいことがわかった。



より効果をあげるツール



世界白地図